

平成19年度中小企業金融実態調査概要

平成19年10月16日
富山県商工会連合会

・調査目的

政府系金融機関の統廃合問題はじめ、信用保証制度の改正など中小企業、小規模企業に対する金融支援策が大きく変革しようとしている。こうした時において、県下商工会地区における小規模企業等の金融に関する実態や動向を把握し、小規模企業金融の円滑化に資するための基礎資料を得ることを目的としている。

・調査対象および方法

商工会地区の中小企業（特に小規模事業者）のうち、630企業を無作為抽出し、商工会の指導員の面接により調査を行った。

・調査時期および実施期間

調査記入時点	平成19年9月1日 現在
調査実施期間	平成19年9月3日～9月14日

・回答状況

調査対象企業数	630社
回答企業数	610社（回収率 96.8%）

・調査結果の概要

県内中小企業は、売上高が僅かに増加し、採算面も赤字企業が減っており、緩やかな回復傾向が見られる。しかし、資金繰りは売上予定額の未達等により悪化傾向にある。

こうした中、今後1年間に借入計画があるとする企業の割合は減少しているものの26.2%の企業が借入を計画しており、資金使途のうち設備資金では「土地・建物の取得」「製造機器・ラインの増設」等、前向き投資に増加傾向も見られる。

今年度から取り扱いされた、早期転換・再挑戦支援窓口事業について、事業を知っている企業は、僅か4.3%で早急なる対応が迫られている。

また、政府系金融機関の統合について、19.0%の企業が資金調達に影響があるとしており、改正貸金業法についても、22.6%の企業が資金繰りに影響があると回答している。

今回の特徴点（前回比較）

- (1) 売上増加企業は、前回より0.2ポイント増加した。黒字企業は変化なく、赤字企業は、1.7ポイント減少した。
- (2) 10～12月の資金繰り予想では、苦しくなるは1.5ポイント増加し、楽になるも1.0ポイント減少し多忙化傾向にある。苦しい要因として、「売上予定額」と「利益予定の未達」が8.9ポイント増加している。
最近6ヶ月の借入申し込みは、8.6ポイント低下して50%を割り込んだ(45.7%)。また調達額はやや縮減傾向で、借入先の絞込みが進んだ模様である。なお「借入金利2%未満」の層は、10.6ポイント減少して11.6%までに下がった。
- (3) 預金は、昨年8月に比べ1.4ポイントと僅かに増加した。
- (4) 「貸し渋り」の有無は、「ある」が10.7ポイント減少したものの、16%の事業者に及んでおり、「審査期間の長期化、資料の増加」「既往貸付の回収」「金利の上乗せ」とする理由が増加している。
- (5) 借入返済の条件変更は、「希望する」企業が5.0ポイント減少している。
- (6) 借りにくい、借りられない理由では、「借入残高が多い」とする回答が70.6%となっている。これは、調達額の縮減、借入先の絞込みの進行、弱含みとなった今後の借入計画とともに、条件変更の希望理由である「返済負担の過重」とも関連づいているものと推察される。ただし、借入計画のうち設備資金では、「土地・建物の取得」「製造機器・ラインの増設」が増加するなどの前向きな動きがある。
- (7) 借入を考える場合の懸念事項においては、「業況の先行き見通し難」「借入後の返済力」が増えた。中小企業にとっては設備投資への決断とともに、円滑な資金調達こそが生命線である。こうしたときに、経営者の掲げたビジネスプランなどへの後押しは当然ながら、成長への抑制要因をほぐす政策(施策)の推進が肝要である。
- (8) 経営が著しく悪化した場合の相談先に48.4%の企業が「商工会」を挙げており、次に24.9%が「金融機関」を挙げている。
- (9) 中小企業、とりわけ小規模企業は、直接金融への関心を持ち始めているが、今なお間接金融、とりわけ国・県・市町村の制度融資への期待は大きなものがある。
信用保証制度にかかる改正などは、小規模企業への特例措置もあって今のところ心配される動きは表面化していない。しかしながら、この10月から導入された責任共有制度については、金融機関の融資姿勢を注視すべきとする声は回答企業の56.4%に及んでいる。
- (10) 県が実施する融資制度、市町村における保証料免除などを含めた融資制度、一年後に到来する政府系金融機関の民営化・統合問題、更にリレイションシップバンキング等に注力する地元金融機関の姿勢など、中小企業金融の円滑化に向けた適時適切な対応が求められる。

調査結果(% = 構成比)

1 回答企業の概要

(1) 業種

建設業	23.6%	飲食・宿泊業	9.7%
製造業	20.8	サービス業	11.8
卸売業	2.1	運輸業	4.6
小売業	24.8	その他	2.6

(2) 創業してから何年

2年未満	0.7%	20年未満	9.7%
5年未満	3.6	30年未満	17.4
10年未満	6.7	50年未満	32.6
15年未満	6.4	50年以上	22.6

(3) 常用従業員数

0人	30.8%	6～10人	11.5%
1人	14.8	11～15人	6.6
2人	12.5	16～20人	3.0
3～5人	16.4	21人以上	4.4

(4) 年間売上高

500万円未満	3.3%
500～1000万円未満	9.8
1000～3000万円未満	31.3
3000～5000万円未満	15.6
5000～1億円未満	17.7
1億円以上～	
1億5000万円未満	8.5
1億5000万円以上	13.6
未記入	0.2

2 営業の状況

(1) 年間売上高の増減率(対前年同期比)

年間売上高の増加企業は、全体で40.0%となり前回調査より0.2ポイント増加した。これを業種別に見ると、運輸業、製造業、卸売業の順で高い。さらに規模別では、11~15人、21人以上、16~20人の順で高い。

売上減少は全体で59.4%となり前回調査より0.3ポイント増加した。業種別にみると、小売業、飲食業、サービス業、の順で高い。従業員規模では、1人の規模で落ち込みが目立った。

年間売上高の増減率		19年	18年
増 加	5%未満	20.3%	21.6%
	5~10%未満	10.8	7.9
	10~20%未満	4.3	6.4
	20%以上	4.6	3.9
	計	40.0	39.8
減 少	5%未満	20.5	24.4
	5~10%未満	20.2	19.1
	10~20%未満	12.1	8.6
	20%以上	6.6	7.0
	計	59.4	59.1

(2) 採算の状況

ア、現在の採算状況

黒字企業が28.9%と前回と変わらないが、赤字企業が、24.6%と1.7ポイント減少し前回より採算状況は僅かながら良化している。

黒字企業を業種別にみると、卸売業、サービス業、建設業の順で高く、赤字企業では運輸業、小売業、建設業の順で高い。

また規模別での黒字企業は、21人以上、6~10人の順で高く、赤字企業は、11~15人、16~20人、6~10人の順で高い。

現在の採算状況	19年	18年
黒 字	28.9%	28.9%
赤 字	24.6	26.3
収支トントン	45.6	43.4

イ、採算状況(対前回比較)

採算状況を前回と比較すると、好転が変化なく、悪化が1.2ポイント増加した。徐々に採算状況の悪化が進んでいる。

採算状況	19年	18年
好転した	12.3%	12.3%
悪化した	38.2	37.0

(3) 資金繰り状況

ア、今年10～12月の資金繰り予想

「大変苦しくなる」と「苦しくなる」の合計では、前回より1.5ポイント増加し、39.7%。「変わらない」が0.6ポイント減少して46.1%。「楽になる」は1.0ポイント減少し1.6%。全般的に資金繰りは悪化傾向が出てきている。

「苦しい」を業種別でみると、運輸業、建設業、小売業の順で高い。

今年10～12月の資金繰り	19年	18年
大変苦しくなる	5.4%	4.8%
苦しくなる	34.3	33.4
計	39.7	38.2
変わらない	46.1	46.7
楽になる	1.6	2.6
計	47.7	49.3
わからない	11.0	10.3

イ、資金繰りが苦しくなる原因(2つ以内で回答)

「苦しくなる」理由は、「売上が予想額に達しない」71.5%が圧倒的に高く、次いで「利益が予定に達しない」45.5%、「借入返済額が大きい」24.0%、「経費が増大」14.9%、「売上代金回収悪い」が8.3%と続いている。

(2つの複数回答)

苦しくなる原因	19年	18年
売上予定額未達	71.5%	65.4%
売上利益予定未達	45.5	42.7
手形受領多い	2.1	2.8
手形期日長期	1.7	2.0
金融機関借入不円滑	4.5	6.5
借入返済額大きい	24.0	27.2
在庫増大	2.9	4.5
売上代金回収悪い	8.3	5.7
焦付き・貸倒れ発生	4.1	3.7
経費の増大	14.9	20.3
その他	2.9	2.8

3 金融機関との取引状況 等

(1) 8月末預金高はどれくらいありましたか

前年と比較すると、500万円未満が6.7ポイント増加し、500万円超が5.1ポイント減少している。

預金高	19年	18年
100万円未満	19.0%	17.7%
100～300万円未満	24.3	21.5
300～500万円未満	16.9	14.3
500～1000万円未満	16.2	17.3
1000～3000万円未満	13.3	15.2
3000～5000万円未満	2.8	4.2
5000～1億円未満	3.1	3.1
1億円以上	1.8	2.5

(2) 昨年の8月と比べ預金は増加しましたか、それとも減少しましたか。

30%強の企業が増加したと回答している。

		19年	18年
増 加	5%未満	23.3%	21.5%
	5～10%未満	6.4	6.7
	10～15%未満	1.5	1.7
	15～20%未満	0.7	1.1
	20%以上	3.0	2.5
	計	34.9	33.5
減 少	5%未満	29.3%	31.9%
	5～10%未満	17.2	15.1
	10～15%未満	4.4	6.2
	15～20%未満	2.1	3.6
	20%以上	8.2	5.9
	計	61.2	62.7

(3) 今年8月末の借入額

前回より500万円未満で1.5ポイント減少し、500万円～1000万円未満で2.1ポイント増加した。また1000万円超では、前回比3.7ポイント減少している。

借入額	19年	18年
300万円未満	12.4%	14.4%
300～500万円	10.0	6.5
500～1000万円	14.9	12.8

1000～ 3000万円	26.4	25.3
3000～ 5000万円	10.3	12.3
5000～1億円未満	6.4	11.0
1億円以上	6.9	5.1
なし	10.5	10.6

(4) 現在の借入先(多い順に3つ回答)

前回調査と比べ、普通銀行8.7ポイント、信用金庫が5.5ポイント、信組、0.9ポイント、国民生活金融公庫14.4ポイント、中小公庫0.6ポイント、農協0.6ポイント減少している。反面、商工中金のみが0.7ポイント増加している。

現在の借入先	19年	18年
普通銀行	66.4%	75.1%
信用金庫	34.9	40.4
信用組合	7.5	8.4
国民公庫	45.6	60.0
中小公庫	3.3	3.9
商工中金	2.3	1.6
農 協	5.1	5.7
その他	3.3	2.7

(5) 借入額は(今年3月頃に比べて)

「増えた」30.0%、「変わらず」28.7%、「減った」29.8%となり、「増えた」が2.4ポイント、「減った」が8.8ポイントそれぞれ減少した。借入額は全体で僅かながら縮減している。

借入額は	19年	18年
増えた	30.0%	32.4%
減った	29.8	38.6
変わらず	28.7	28.3

(6) 金利は(今年3月頃に比べて)

「上がった」が2.1ポイント減少し、「下がった」は0.6ポイント増加した。また、「変わらず」が10.6ポイント減少した

金利は	19年	18年
上がった	26.9%	29.0%
下がった	2.6	2.0%
変わらず	57.5	68.1%

(7) 現在の借入金利(平均)

平均金利は、「2.0%未満」が10.6ポイント減少し11.6%となり、「2.0~2.5%未満」が1.4ポイント減少し43.1%となった。また3.0%~3.5%未満で1.4ポイント増加し6.2%となっている。

現在の借入金利	19年	18年
2.0%未満	11.6%	22.2%
2.0~2.5%未満	43.1	44.5
2.5~3.0%未満	20.7	20.5
3.0~3.5%未満	6.2	4.8
3.5~4.0%未満	2.3	2.5
4.0~4.5%未満	1.5	0.7
4.5%以上	0.2	0.5

(8) 最近6ヶ月間の借入申込(借入申込実績)

「した」が前回より8.6ポイント減少した。業種別では運輸業、卸売業、建設業、の順で多い。「しなかった」は1.5ポイント減少し、小売業、サービス業、飲食業で多くみられた。

借入申込	19年	18年
した	45.7%	54.3%
しなかった	43.0	44.5%

(9) 借入の満足度

「非常に満足」が6.7ポイント減少し、「まあ満足」が10.1ポイント増加した。また「不満」と「ことわられた」を合わせると7.9%で前回比2.9ポイント減少しており対応に軟化傾向がみられる。

借入の満足度	19年	18年
非常に満足	22.2%	28.9%
まあ満足	68.1	58.0
不満	6.5	9.2
ことわられた	1.4	1.6

(10) 「貸し渋り」の有無

「ある」が前回より10.7ポイント減少し、「ない」は9.2ポイント増加した。

「ある」を業種別でみると、卸売業、小売業、サービス業の順で高い。

「貸し渋り」の有無	19年	18年
ある	16.0%	26.7%
ない	81.6	72.4

(11) 「貸し渋り」の内容(3つの複数回答)

「貸し渋り」の内容をみると「追加融資不可」12.4ポイント、「金額査定減」1.1ポイント、「保証協会の付保」15.2ポイント、「担保・保証人の強化」15.0ポイント減少した。

一方、「審査期間の長期化、資料の増加」2.2ポイント、「既往貸付の回収」16.8ポイント、「金利の上乗せ」9.9ポイント増加している。

「貸し渋り」の内容	19年	18年
追加融資不可	41.2%	53.6%
金額査定減	38.2	39.3
保証協会の付保	29.4	44.6
担保・保証人の強化	11.8	26.8
審査期間の長期化、資料の増加	14.7	12.5
既往貸付の回収	38.2	21.4
金利の上乗せ	20.6	10.7
その他	2.9	

(12) 借りにくい、借りられない理由 回答数構成比

「借入残高が多い」が15.2ポイント増加し70.6%、「業績が思わしくない」が2.6ポイント減少し20.6%、「担保力がない」が3.0ポイント減少し5.9%を占めた。「取引実績が悪い」は4.2ポイント減少し2.9%であった。

借りにくい、借りられない理由	19年	18年
業績が思わしくない	20.6%	23.2%
借入残高が多い	70.6	55.4
担保力がない	5.9	8.9
しっかりした保証人がいない	0.0	0.0
取引実績がない	0.0	0.0
取引実績が悪い	2.9	7.1
その他	0.0	3.6

(13) 借入返済の条件変更(希望の有無)

条件変更を「希望する」企業が、前回調査と比べ5.0ポイント減少し、「希望しない」も、5.2ポイント減少した。

条件変更	19年	18年
希望する	15.6%	20.6%
希望しない	71.1	76.3%

(14) 希望する条件変更

「長期資金への切替」が6.7ポイント増加した。また、「返済期間の延長」「元金返済の一時据置」「担保等の軽減」後それぞれ4.9ポイント、0.6ポイント、3.1ポイント減少した。

希望する条件変更	19年	18年
返済期間の延長	44.2%	49.1%
長期資金への切替	32.6	25.9%
元金返済の一時据置	15.8	16.4%
担保等の軽減	2.1	5.2%

(15) 条件変更を希望する理由

「借入返済額過重」「売上高の減少」「営業外への資金流失」「不良債権の発生」「取引条件の悪化」で7.4ポイント増加し、「借入難」で3.7ポイント減少した。「返済負担過重」を業種別で見ると卸売業、小売業、建設業の順で高くなっている。

希望する理由	19年	18年
借入返済額過重	51.6%	46.6%
売上高の減少	33.7	32.8
借入難	3.2	6.9
経営外への資金流出	1.1	0.9
不良債権の発生	1.1	0.9
取引条件の悪化	6.3	5.2
その他	0.0	1.7

(16) 条件変更の難易

前回調査と比べ、「容易である」が0.1ポイント減少し、「交渉次第で何とかなる」もの0.9ポイント増加した。また「難しい」も0.6ポイント増加している。

条件変更の難易	19年	18年
容易である	4.2%	4.3%
交渉次第で何とかなる	52.6	51.7
難しい	36.8	36.2

(17) 金融機関からの借入金返還要求の有無

「ある」が3.6%で、前回と比べ0.7ポイント減少している。業種別では卸売業、建設業、製造業の順で高い。

借入金返還要求	19年	18年
ある	3.6%	4.3%
ない	84.4	93.1%

(18) 経営が著しく悪化した場合の相談先

先行きに問題が生じたとき、まず、第一に相談に行くところは商工会 48.4% で前回比 3.6 ポイント減少し、次に金融機関 24.9% で前回比 4.1 ポイント減少している。 前年に引き続き地元 指導員の頑張りが評価されているものの年々減少していることに注力したい。

「その他」では、親会社・経営コンサルタント・グループ会社等が見られた。

相談先	19年	18年
商工会	48.4%	52.0%
商工会連合会	0.5	1.1
県・支援センター	0.8	1.8
金融機関	24.9	29.0
政府系金融機関	2.1	3.2
親戚・友人・知人	5.9	6.8
その他	4.1	3.2

4 借入計画 等

(1) 今後の借入計画 (1年間)

「あ る」は前回と比べ 6.3 ポイント減少している。

業種別にみると、建設業、製造業、小売業の3業種が高い。

規模別では、11~15人・16~20人の規模が40%台を超えている。

借入計画	19年	18年
あ る	26.2%	32.5%
な い	72.6	65.9%

(2) 計画ある場合の資金使途 (無記入除外、回答数構成比)

「設 備」の内訳をみると、前回比「車両の購入」「製造機器・ラインの増設」「土地建物の取得」で19.4 ポイント増加しており、外は減少している。

業種別では、製造業に動きがある。

一方、「運 転」では「買掛金・手形決済」、「諸経費の支払・納税」、「他の借入返済に充当」が最も多く 8.9 ポイント増加している。製造業、建設業、飲食業の順で需要が強い。

設 備	資金使途	19年	18年
	製造機器・ラインの増設	16.9%	9.4%
	パソコン等のIT機器	2.4	5.7
	車両等の購入	30.1	25.4
	工場・店舗等の補修・改修	31.3	41.5
	土地・建物の取得	15.7	8.5
	公害防止関係設備	2.4	2.8

	従業員福祉施設の設置	0.0	
	その他	1.2	6.6
運 転	買掛金・手形決済	37.0	36.6
	諸経費の支払い・納税	24.0	21.6
	商品・原材料の現金買い	17.1	24.7
	給与・賞与等の支払い	8.2	8.8
	他の借入返済に充当	12.3	6.2
	新分野進出への準備金	1.4	2.1

(3) 借入時の重視条件(2つの複数回答)

前回と比べ、直接条件が7.7ポイント増加し、間接条件が1.8ポイント減少した。

借入時の重視条件		19年	18年
直 接 条 件	金利が低い	66.3%	56.9%
	条件が有利	42.5	41.1
	返済期間が手頃	21.3	24.4
間 接 条 件	日頃のつきあい	19.4	23.9
	近くにあって便利	17.5	14.4
	経営上の相談指導が得られる	16.3	19.1
	サービスが良い	5.6	2.4
	その他	0.6	1.4

(4) 借入を考える場合、何が懸念されるか(2つの複数回答)

「業況の先行見通し難」がトップで、次いで「借入後の返済力」と前回比12.8ポイント増加している。

前回比「連帯保証人」「不動産担保」「金融機関の対応」「保証協会の付保」「後継者」がそれぞれ減少し、軟化傾向にある。

何が懸念されるか	19年	18年
業況の先行見通し難	67.5%	60.3%
借入後の返済力	60.6	55.0
連帯保証人	13.8	20.1
不動産担保余力	0.6	2.9
金融機関の対応	17.5	21.1
信用保証協会の付保	5.6	5.7
後継者難	2.5	2.9
その他	0.0	0.0
特になし	8.1	5.3

(5) 資金調達について

回答率は53.9%である。

支援ファンド13.8%を業種別に見ると、製造業、建設業、小売業の順で高い。また規模別に見ると、規模の大きいほど割合が高い。

3度目の調査だが、中小企業者も直接金融について前向きに取り組みつつあるように思われ、年々回答数が増えている。

資金調達	19年	18年
CLO	6.6%	5.3%
支援ファンド	13.8	13.1
出資の受入	10.8	10.4
社債の発行	1.6	3.1
私募債	9.0	11.8
CBO	2.1	3.4
その他	10.0	10.1

5 融資制度 等

(1) 国・県・市町村の融資制度の利用

前回調査と比べると、「ある」は2.9ポイント減少しており、逆に「ない」が3.4ポイント増加した。

「ない」を業種別に見ると、サービス業、小売業の順で高く、規模別では0人、1人、21人以上の順で多い。

融資制度の利用	19年	18年
あ る	46.7%	49.6%
な い	51.8	48.4%

(2) 国や県、市町村の融資制度は経営(資金調達)の役に立っていますか。

経営に役立っていると回答した企業は、97.5%を占めている。

経営に役立っているか	19年	18年
大変役に立っている	61.4%	54.5%
まあまあ役たっている	36.1	43.6
あまり役にたっていない	1.4	0.9
役にたっていない	1.1	0.0

(3) 制度を利用しない理由

前回調査に比べ、「利用する必要がない」が6.0ポイント減少している。また「メリットがない」「手続き面倒」「融資条件合致せず」で6.5ポイント増加した。

制度を知らなかったは前回同様3.2%で変化はない。

利用しない理由	19年	18年
利用する必要ない	69.9%	75.9%
メリットがない	2.2	1.6
手続き面倒	8.9	4.5
融資条件合致せず	5.7	4.2
制度を知らなかった	3.2	3.2
その他	1.9	3.2

(4) 政府系機関の統合により平成20年10月に株式会社日本政策金融公庫となるが、小規模企業の資金調達に影響があると思うか。

影響があると回答した企業は、19.0%を占めた。

19年 統合に影響		18年調査、統合に懸念?	
影響がある	19.0%	懸念があると思う	37.5%
影響がない	18.4	懸念がない	9.0
なんとも言えない	56.3	なんとも言えない	49.5

(5) 国(政府系金融機関)、県、市町村制度融資について、寄せられた意見全てを記載した。

- ・ 中小企業の中でも優店には優しく、小さい個人の店には厳しすぎる。
- ・ 返済期間が7～10年のものが増えれば・・・。
- ・ 審査の簡略化。
- ・ 返済年数の緩和と一本化の実施。
- ・ 国の制度は手続きなどが面倒な気がする。
- ・ 中小企業への支援が日本経済への活力に(成長に)なると思います。
- ・ 中小企業を育成し、雇用を確保するために、今後も支援強化をお願いします。
- ・ 安易な調達機関となることなく、将来性等を重視して欲しい。
- ・ 今後も継続して欲しい。
- ・ 市町村制度融資の金額が少ないと思う。
- ・ 保証協会の保証料が高い。
- ・ 簡単に商工会から借入するには預金をしなければ大口で借入できないシステムになっていて返済金額を一緒に返すということは大変な負担になり、保証金といって最初払って月々の返済を少なくする方が楽になるように思っております。保証人のいらぬのは助かる。
- ・ 広報を詳しくして欲しい。内容がまだよくわからないため。
- ・ 無担保融資枠を拡大して欲しい。
- ・ 県・市の融資制度を申し込んでも実際に決定するのは担当する金融機関であり銀行がOKを出さねば融資しないため形だけの制度であると思います。また県の保証協会が保証金額を提示しても難癖をつけ融資しないことも現実にもありました(金融庁から云々と訳の分からない理由で)。これでは本当に事業にやる気を出しても最後に廃業に追い込まれてしまう。本当に困

- った時の救済制度ではないのか？
- ・ 公庫の借入は非常に役立っている。
 - ・ 利率の低下。
 - ・ 融資の条件を甘くする。業種の幅を広くする。
 - ・ 金利が安くあればよい。連帯保証人を少なくして欲しい。
 - ・ 返済期間の延長及び限度額の増額。運転5年 10年まで。
運転例えば1250万円 2000万円等。
 - ・ 手続きが複雑すぎる。
 - ・ 中小企業にこそ借入しやすく無理なく返済できる制度をつくって欲しい。
 - ・ 見せかけの制度融資。本当に必要な企業の資金調達になりえない。
 - ・ 借入のスピード化。
 - ・ 市町村制度融資をもっと増やして簡単にしたい。
 - ・ 融資制度が厳しい。
 - ・ 現行のまま続けてほしい。
 - ・ 現状国民生活金融公庫に返済中です。金利上がらないように。
 - ・ 金利の引き下げ。 緊急経営資金の延長。
 - ・ 景気が良くなった実感が無いのに、金利が上昇傾向金利は当面引き下げまたは現状維持で。
 - ・ 国 低金利でよい。
 - ・ 統合により国民生活公庫のような対応ができるか心配。

(6) 商工会員優遇提携ローンを過去1年以内に利用したか。

会員の提携ローンの利用は、6.6%であった。

提携ローン	19年	18年
利用したことがある	6.6%	7.0%
利用したことがない	91.3	91.0

(7) 提携ローンを利用しなかった理由

会員で提携ローンの制度を知らない企業が25.9%で0.4ポイント減少した。

「メリットがない」「手続きが面倒」「融資条件合致せず」の合計で5.0ポイント増加している。

利用しなかった理由	19年	18年
利用する必要ない	53.9%	55.9%
メリットがない	3.9	2.9
手続き面倒	2.5	1.5
融資条件合致せず	5.4	2.4
制度を知らなかった	25.9	26.3
その他	0.5	1.2

6 最近の諸制度についておたずねいたします。

(1) 信用保証協会の保証料率や保証人の徴求基準が改正されましたが、これらについておたずねします。

ア、19年4月以降、信用保証協会の一般保証で借入をされましたか。

19年4月以降、借入をした企業は、111社(18.2%)に及んだ。

借入	19年	18年
借入をした	18.2%	15.6%
借入はしていない	77.9	82.0

イ、保証料率は一律料率(原則1.35%)に比べてどうでしたか。

高い保証料率での利用は、22.5%で前回は1.5ポイント増加し、逆に「低かった」は前回は1.8ポイント増加した。また「一律料率(1.35%)程度であった」は2.2ポイント減少している。

保証料率は	19年	18年
低かった(0.5%~1.1%)	19.8%	18.0%
一律料率(1.35%)程度であった	46.8	49.0
高かった(1.6%~2.2%)	22.5	21.0
その他	0.9	4.0

ウ、円滑に保証を受けられましたか。

「円滑に保証を受けられた」と回答した企業は69.4%で前回は5.6ポイント減少した。「少し難しかった」企業は2.6ポイント増加した。また「円滑でなく難しかった」は2.3ポイント減少した。

保証は	19年	18年
円滑に保証を受けられた	69.4%	75.0%
少し難しかった	21.6	19.0%
円滑ではなく難しかった	2.7	5.0%
未記入	6.3	1.0%

エ、保証制度を「融資する金融機関」が貸し倒れ損失の一部を負担する[責任共有制度]に変更しますが、このことについてどう思われますか。

金融機関の「審査が厳しくなる」「選別される」「貸し渋りが行われる」「金利が高くなる」等の懸念を抱いている企業は56.4%を占め前回は1.5ポイント減少している。

金融機関の保証について	19年	18年
金融機関の審査が厳しくなり、選別融資や貸し渋りが行われるのではないかと懸念	38.0%	36.7%
融資の金利が高くなるのではないかと懸念	18.4	21.2
保証協会による保証制度の健全運営の		

ためにはやむを得ない	5.6	5.4
わからない	32.3	29.9
その他	0.2	0.2

(2) 信用保証制度について、ご意見があれば自由にご記入ください。

全てを記載した。

- ・ 保証協会の審査態勢が硬直化し、柔軟性がない(逆提案など建設的な話がない)信用リスクを金利に反映するのは当然である。中小金融機関の補助・支援制度とならない様に。
- ・ 今までの経営の仕方を見てもらい信用保証してもらえば一番よい。保証人のないのが一番です。
- ・ 今まで保証協会が保証すれば融資可能でしたが、ある金融機関ではその保証があっても融資不可のことがありました。これから責任共有制度になれば益々借入をしたくても断られることになり事業を維持できなくなります。とても心配です。借入申し込み額に対して保証額が下回った時その不足する金額は全く融資してくれず、このような形になったとき高利に手を出し倒産するパターンはよく理解できる。美しい日本のため、弱い者いじめはやめて欲しい。
- ・ 保証料が少し高いように思います。
- ・ 最近事業縮小を考えている企業が多いと思うが、そのためにはいくらか資金が必要となります。そこでこれから健全経営をしていこうと考えている企業に対して、特別に長期(10年~)で運転資金を低金利貸し出してもらいたい。勿論正しく縮小するために利用したことを後日証拠書類提出などで確認されることも必要だと思う。
- ・ 自社の経営状態で融資の増額は厳しいのはある程度は理解し承知はしているが、事業継続のために寛大な配慮はできないでしょうか。
- ・ 今後も私(自営)達の立場に立って取引をお願いします。
- ・ 中小零細を抱える商工会エリアにとって、負担(保証料率UP)が増すことを懸念しています。
- ・ 借入利率に比べて、保証料が高く思われる。

(3) 貸金業規正法の改正について

小規模企業の資金繰りに影響があるとの回答、22.6%であった。

	19年
影響があると思う	22.6%
影響はないと思う	23.3
結構利用しているので影響は大きいと思う	0.5
小額利用なので影響は小さいと思う	1.5
よくわからない	48.2

(4) 早期転換・再挑戦支援窓口事業について

「事業」「内容」について知っているは僅か4.3%・3.1%で、早急に周知等の措置が必要である。

ア、事業について

	19年
知っている	4.3%
知らない	53.8
聞いたことがある	21.5
わからない	16.9

イ、内容について

	19年
知っている	3.1%
知らない	61.3
聞いたことがある	9.5
わからない	22.3

ウ、制度の利用は

	19年
考えている	0.7%
考えていない	50.2
わからない	45.6

(5) 商工会に期待する金融円滑化支援策等について、ご意見があれば自由にご記入ください。

全てを記載した。

- ・ 経営資金を借りやすくして欲しい。経営が波に乗っていないから金利を下げてくれない。そのような時に商工会の支援があるとよい。
- ・ もっと中小企業の立場を考えれば早く対応してください。
- ・ 商工会にその様な機能を付与すること自体無理がある。税理士以下の能力で実務経験がない、実体として商工会事業の運営事務ばかりで人材がない。政府支援策の事務面での実行となることすら困難では？ネットワークづくりや企業紹介などでの活躍を期待したい。
- ・ 赤字を出さないように今まで懸命にやってきました。しかし最近の災害を見ていると思ったこともないほどの被害です。こんな場合にどうなるのかな？と ふと思います。その前に何か防ぐ方法があるのかと？
- ・ 商工会事務局は経営指導、金融に関してのアドバイス等を最も進んでお知らせいただきよい金融商品があれば教えてください。
- ・ 商工会会員優遇となる借入ローンを充実して欲しい。限度額UP や、条件緩和、返済期間延長等。

- ・ 決算期ごとに何らかのアドバイスが欲しい。
- ・ 今までも商工会にはしんしに相談にのってもらっています。今後も継続してください。
- ・ 金利を安くしてもらえないでしょうか。
- ・ 現在、商工会を通して再生支援協議会に相談中。もう少し早い段階で相談していればと思う。引き続き支援してほしい。

以 上

中小企業金融実態調査集計表(全体、4ヵ年比較)

上段 実数
(下段 構成比)
N A 無記入

区 分		16年度	17年度	18年度	19年度	
企業 の 概 要 に つ い て お た ず ね し ま す	1 業種は次のどれにあたりますか	建設業	184 (28.1)	164 (25.5)	162 (25.2)	144 (23.6)
		製造業	123 (18.8)	129 (20.1)	123 (19.1)	127 (20.8)
		卸売業	20 (3.1)	21 (3.3)	16 (2.5)	13 (2.1)
		小売業	162 (24.7)	154 (24.0)	175 (27.2)	151 (24.8)
		飲食業・宿泊業	51 (7.8)	57 (8.9)	54 (8.4)	59 (9.7)
		サービス業	74 (11.3)	74 (11.5)	73 (11.4)	72 (11.8)
		運輸業	30 (4.6)	29 (4.5)	30 (4.7)	28 (4.6)
		その他	11 (1.7)	14 (2.2)	10 (1.6)	16 (2.6)
		N A	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	2 創業してから何年になりますか	2年未満	4 (0.6)	8 (1.2)	5 (0.8)	4 (0.7)
		2～5年未満	13 (2.0)	24 (3.7)	20 (3.1)	22 (3.6)
		5～10年未満	34 (5.2)	32 (5.0)	35 (5.4)	41 (6.7)
		10～15年未満	50 (7.6)	39 (6.1)	44 (6.8)	39 (6.4)
		15～20年未満	66 (10.1)	74 (11.5)	56 (8.7)	59 (9.7)
		20～30年未満	124 (18.9)	138 (21.5)	116 (18.0)	106 (17.4)
		30～50年未満	225 (34.4)	203 (31.6)	221 (34.4)	199 (32.6)
		50年以上	138 (21.1)	123 (19.2)	144 (22.4)	138 (22.6)
		N A	1 (0.2)	1 (0.2)	2 (0.3)	2 (0.3)
	3 3か月以上継続雇用・パート含家族除 常時使用する従業員は何人ですか	0人	167 (25.5)	164 (25.5)	160 (24.9)	188 (30.8)
		1人	84 (12.8)	94 (14.6)	96 (14.9)	90 (14.8)
		2人	59 (9.0)	64 (10.0)	63 (9.8)	76 (12.5)
		3～5人	120 (18.3)	117 (18.2)	119 (18.5)	100 (16.4)
		6～10人	105 (16.0)	96 (15.0)	99 (15.4)	70 (11.5)
		11～15人	46 (7.0)	46 (7.2)	45 (7.0)	40 (6.6)
		16～20人	35 (5.3)	20 (3.1)	23 (3.6)	18 (3.0)
		21人以上	37 (5.6)	41 (6.4)	38 (5.9)	27 (4.4)
		N A	2 (0.3)	0 (-)	0 (-)	1 (0.2)

区		分	16年度	17年度	18年度	19年度		
営業 の 状 況 に つ い て お た ず ね し ま す	4 こ こ 一 年 間 の 売 上 高 は ど の く ら い	500万円未満	16 (2.4)	15 (2.3)	20 (3.1)	20 (3.3)		
		500～ 1000万円未満	46 (7.0)	40 (6.2)	52 (8.1)	60 (9.8)		
		1000～ 3000万円未満	171 (26.1)	175 (27.3)	159 (24.7)	191 (31.3)		
		3000～ 5000万円未満	109 (16.6)	122 (19.0)	105 (16.3)	95 (15.6)		
		5000～ 1億円未満	118 (18.0)	120 (18.7)	115 (17.9)	108 (17.7)		
		1億円～1億 5000万円未満	69 (10.5)	49 (7.6)	86 (13.4)	52 (8.5)		
		1億5000万円 以上	123 (18.8)	120 (18.7)	104 (16.2)	83 (13.6)		
		N A	3 (0.5)	1 (0.2)	2 (0.3)	1 (0.2)		
		5 こ こ 一 年 間 の 売 上 高 前 年 と く ら べ	増 加	5%未満	109 (16.6)	117 (18.2)	139 (21.6)	124 (20.3)
				5～10%未満	67 (10.2)	75 (11.7)	51 (7.9)	66 (10.8)
	10～20%未満			52 (7.9)	38 (5.9)	41 (6.4)	26 (4.3)	
	20%以上			22 (3.4)	28 (4.4)	25 (3.9)	28 (4.6)	
	減 少		5%未満	134 (20.5)	146 (22.7)	157 (24.4)	125 (20.5)	
			5～10%未満	138 (21.1)	135 (21.0)	123 (19.1)	123 (20.2)	
			10～20%未満	78 (11.9)	56 (8.7)	55 (8.6)	74 (12.1)	
			20%以上以上	48 (7.3)	38 (5.9)	45 (7.0)	40 (6.6)	
			N A	7 (1.1)	9 (1.4)	7 (1.1)	4 (0.7)	
			6 採 算 状 況 は い か が	現 在	黒字	194 (29.6)	197 (30.7)	186 (28.9)
	収支とんとん	294 (44.9)	288 (44.9)		279 (43.4)	278 (45.6)		
	1 年 前 と 比 べ て	1 年 前 と 比 べ て	赤字	164 (25.0)	153 (23.8)	169 (26.3)	150 (24.6)	
			NA	3 (0.5)	4 (0.6)	9 (1.4)	6 (1.0)	
			好転した	106 (16.2)	117 (18.2)	79 (12.3)	75 (12.3)	
			変わらない	230 (35.1)	224 (34.9)	269 (41.8)	264 (43.3)	
			悪化した	282 (43.1)	260 (40.5)	238 (37.0)	233 (38.2)	
			わからない	19 (2.9)	17 (2.6)	23 (3.6)	14 (2.3)	
			N A	18 (2.7)	24 (3.7)	34 (5.3)	24 (3.9)	

区 分		16年度	17年度	18年度	19年度	
営業の状況についておたずねします	7 10月～12月の資金繰りはどう思う?	大変苦しくなる (3.2)	21 17	31 17	33 33	
	苦しくなる (31.1)	204	205	215	209	
	変わらない (50.5)	331	328	300	281	
	楽になる (1.8)	12	18	17	10	
	わからない (12.5)	82	60	66	67	
	N A (0.8)	5	14	14	10	
	8 資金繰りが苦しくなる原因は何んですか 2つ以内で回答	売上が予定額に達しないため (70.2)	158	149	161	173
	売上利益が予定額に達しないため (42.2)	95	114	105	110	
	受取手形が多くなるため (5.3)	12	2	7	5	
	受取手形の期日が長くなるため (1.8)	4	3	5	4	
	金融機関からの借入が円滑にできないため (8.4)	19	10	16	11	
	借入返済額が大きいため (18.2)	41	63	67	58	
	在庫品が増えるため (4.4)	10	9	11	7	
	売上代金の回収が悪いため (11.1)	25	15	14	20	
	焦付、貸倒的売掛が発生しているため (3.1)	7	3	9	10	
	経費が増大しているため (13.3)	30	41	50	36	
	その他(具体的に) (3.6)	8	8	7	7	
	N A (0.4)	1	4	2	2	
	金融機関との取引	9 今年8月末の預金高はどのくらい	100万円未満 (17.4)	114		114 (19.0)
		100～300万円未満 (21.7)	142		138 (24.3)	
300～500万円未満 (14.2)		93		92 (16.9)		
500～1000万円未満 (15.7)		103		111 (16.2)		
1000～2000万円未満 (11.5)		75	1000万円～3000万円未満 (15.2)	98 (13.3)		
2000～5000万円未満 (10.2)		67	3000～5000万円未満 (4.2)	27 (2.8)		
5000万円以上 (5.8)		38	5000万円～1億円未満 (3.1)	20 (3.1)		
			1億円以上 (2.5)	16 (1.8)		
N A (3.5)		23		27 (2.6)		

区 分		16年度	17年度	18年度	19年度			
金融機関との取引及び借入状況について	10 昨年の8月と比べ、預金は増加しましたか	増 加	5%未満			138	142	
			(21.5)	(23.3)				
			5~10%未満			43	39	
			(6.7)	(6.4)				
			10~15%未満			11	9	
		(1.7)	(1.5)					
		15%~20%未満			7	4		
		(1.1)	(0.7)					
		20%以上			16	18		
		(2.5)	(3.0)					
	減 少	5%未満			205	179		
		(31.9)	(29.3)					
		5~10%未満			97	105		
		(15.1)	(17.2)					
		10~15%未満			40	27		
		(6.2)	(4.4)					
	15%~20%未満			23	13			
	(3.6)	(2.1)						
	20%以上			38	50			
	(5.9)	(8.2)						
N A			25	24				
(3.9)	(3.9)							
11	0	70						
今年8月末の借入額はどのくらい	ありましたか	(10.7)	69	28	32			
	100万円未満	(3.7)	24	(10.7)	69	(4.4)	28	(5.2)
	100~300万円未満		72	62	64	44		
	(11.0)	(9.7)	(10.0)	(7.2)				
	300~500万円未満		62	55	42	61		
	(9.5)	(8.6)	(6.5)	(10.0)				
	500~1000万円未満		73	99	82	91		
	(11.1)	(15.4)	(12.8)	(14.9)				
	1000~3000万円未満		159	152	163	161		
	(24.3)	(23.7)	(25.3)	(26.4)				
	3000~5000万円未満		75	84	79	63		
	(11.5)	(13.1)	(12.3)	(10.3)				
	5000~1億円未満		65	56	71	39		
	(9.9)	(8.7)	(11.0)	(6.4)				
1億円以上		42	43	33	42			
(6.4)	(6.7)	(5.1)	(6.9)					
なし			68	64				
(10.6)	(10.5)							
N A	13	22	13	13				
(2.0)	(3.4)	(2.0)	(2.1)					

区 分		16年度	17年度	18年度	19年度	
金融機関との取引及び借入状況についておたずねします	12 現在の借入先はどこですか 多い順に3つ	普通銀行	408 (62.3)	409 (63.7)	422 (75.1)	405 (66.4)
		(都市銀行)			15 (2.7)	13 (2.1)
		(地方銀行)			328 (58.4)	328 (53.8)
		(第二地方銀行)			79 (14.2)	64 (10.5)
		信用金庫	259 (39.5)	234 (36.4)	227 (40.4)	213 (34.9)
		信用組合	48 (7.3)	57 (8.9)	47 (8.4)	46 (7.5)
		国民生活金融公庫	343 (52.4)	358 (55.8)	337 (60.0)	278 (45.6)
		中小企業金融公庫	35 (5.3)	26 (4.0)	22 (3.9)	20 (3.3)
		商工組合中央金庫	10 (1.5)	12 (1.9)	9 (1.6)	14 (2.3)
		農協	45 (6.9)	33 (5.1)	32 (5.7)	31 (5.1)
		その他	30 (4.6)	35 (5.5)	15 (2.7)	20 (3.3)
		N A	- (-)	35 (5.5)	8 (1.4)	4 (0.7)
13 借入額は今年	3月に比べて	ふえた	196 (29.9)	190 (29.6)	182 (32.4)	183 (30.0)
		変わらない	177 (27.0)	196 (30.5)	159 (28.3)	175 (28.7)
		減った	229 (35.0)	225 (35.0)	217 (38.6)	182 (29.8)
		N A	53 (8.1)	31 (4.8)	4 (0.7)	70 (11.5)
14 金利は今年	3月に比べて	上がった	46 (7.0)	40 (6.2)	163 (29.0)	164 (26.9)
		変わらない	483 (73.7)	505 (78.7)	383 (68.1)	351 (57.5)
		下がった	63 (9.6)	57 (8.9)	11 (2.0)	16 (2.6)
		N A	63 (9.6)	40 (6.2)	5 (0.9)	79 (13.0)
15 平均から借入金利はどの	平く均ら借入金すかの	2.0%未満	180 (27.5)	212 (33.0)	125 (22.2)	71 (11.6)
		2.0~2.5%未満	240 (36.6)	236 (36.8)	250 (44.5)	263 (43.1)
		2.5~3.0%未満	111 (16.9)	90 (14.0)	115 (20.5)	126 (20.7)
		3.0~3.5%未満	31 (4.7)	33 (5.1)	27 (4.8)	38 (6.2)
		3.5~4.0%未満	15 (2.3)	11 (1.7)	14 (2.5)	14 (2.3)
		4.0~4.5%未満	3 (0.5)	7 (1.1)	4 (0.7)	9 (1.5)
		4.5~5.0%未満				
		5.0~5.5%未満	1 (0.2)	1 (0.2)	3 (0.5)	1 (0.2)
		5.5~6.0%未満				
		N A	74 (11.3)	52 (8.1)	24 (4.3)	88 (14.4)

区 分		16年度	17年度	18年度	19年度	
金融機関との取引及び借入状況についておたずねします	16 借入申込 最近6ヶ月	申込した	349 (53.3)	324 (50.5)	305 (54.3)	279 (45.7)
		申込しなかった	293 (44.7)	306 (47.7)	250 (44.5)	262 (43.0)
		N A	13 (2.0)	12 (1.9)	7 (1.2)	69 (11.3)
	17 借入は満足できる ものでしたか	非常に満足した	82 (23.5)	76 (23.5)	88 (28.9)	62 (22.2)
		まあ満足した	220 (63.0)	212 (65.4)	177 (58.0)	190 (68.1)
		満足できなかった	27 (7.7)	29 (9.0)	28 (9.2)	18 (6.5)
		ことわられた	3 (0.9)	1 (0.3)	5 (1.6)	4 (1.4)
		N A	17 (4.9)	6 (1.9)	7 (2.3)	5 (1.8)
	18 貸し渋りを感じるか	ある	52 (20.8)	45 (18.6)	56 (26.7)	34 (16.0)
		ない	187 (74.8)	186 (76.9)	152 (72.4)	173 (81.6)
		N A	11 (4.4)	11 (4.5)	2 (1.0)	5 (2.4)
	19 貸し渋りの内容はお答えください	金額査定減	20 (38.5)	16 (35.6)	22 (39.3)	13 (38.2)
		追加融資不可	21 (40.4)	17 (37.8)	30 (53.6)	14 (41.2)
		既往貸付の回収	7 (13.5)	12 (26.7)	12 (21.4)	13 (38.2)
		金利の上乗せ	3 (5.8)	4 (8.9)	6 (10.7)	7 (20.6)
		担保・保証人の強化	17 (32.7)	17 (37.8)	15 (26.8)	4 (11.8)
		保証協会の付保	19 (36.5)	19 (42.2)	25 (44.6)	10 (29.4)
		審査期間の長期化 審査資料の増加	10 (19.2)	14 (31.1)	7 (12.5)	5 (14.7)
		その他	1 (1.9)	1 (2.2)	0 (-)	1 (2.9)
		N A	- (-)	- (-)	1 (11.8)	0 (-)
20 借りにくい・借りられない理由は	取引実績がない	- (-)	8 (3.8)	0 (-)	0 (-)	
	担保力がない	6 (11.5)	17 (8.2)	5 (8.9)	2 (5.9)	
	しつかりした保証人がいない	3 (5.8)	20 (9.6)	0 (-)	0 (-)	
	取引実績が悪い	2 (3.8)	8 (3.8)	4 (7.1)	1 (2.9)	
	借入残高が多い	16 (30.8)	42 (20.2)	31 (55.4)	24 (70.6)	
	業績が思わしくない	20 (38.5)	52 (25.0)	13 (23.2)	7 (20.6)	
	その他	- (-)	61 (29.3)	2 (3.6)	0 (-)	
	N A	5 (9.6)	0 (-)	1 (1.8)	0 (-)	

区 分		16年度	17年度	18年度	19年度	
金融機関との取引及び借入状況についておたずねいたしました	21 希望する条件変更するか	希望する	116 (17.7)	106 (16.5)	116 (20.6)	95 (15.6)
		希望しない	511 (78.0)	485 (75.5)	429 (76.3)	434 (71.1)
		N A	28 (4.3)	51 (7.9)	17 (3.0)	81 (13.3)
	22 希望の条件変更は	元金の一時据置	19 (16.4)	11 (10.4)	19 (16.4)	15 (15.8)
		返済期間の延長	54 (46.6)	53 (50.0)	57 (49.1)	42 (44.2)
		長期資金への切替	28 (24.1)	27 (25.5)	30 (25.9)	31 (32.6)
		担保権の消滅	7 (6.0)	6 (5.7)	6 (5.2)	2 (2.1)
		N A			4 (3.4)	5 (5.3)
	23 何です条件変更を希望する理由は	不良債権の発生	3 (2.6)	1 (0.9)	1 (0.9)	1 (1.1)
		売上の急激な減少	36 (31.0)	35 (33.0)	38 (32.8)	32 (33.7)
		借入難	6 (5.2)	6 (5.7)	8 (6.9)	3 (3.2)
		借入返済額が過重	59 (50.9)	47 (44.3)	54 (46.6)	49 (51.6)
		取引条件の悪化	2 (1.7)	8 (7.5)	6 (5.2)	6 (6.3)
		経営外への資金流失	3 (2.6)	0 (-)	1 (0.9)	1 (1.1)
		その他	2 (1.7)	2 (1.9)	2 (1.7)	0 (-)
		N A			6 (5.2)	3 (3.2)
	24 条変の難易	容易である	6 (5.2)	6 (5.7)	5 (4.3)	4 (4.2)
		交渉次第で何とかなる	58 (50.0)	48 (45.3)	60 (51.7)	50 (52.6)
		難しい	45 (38.8)	43 (40.6)	42 (36.2)	35 (36.8)
		N A			9 (7.8)	6 (6.3)
	25 借金の返還	ある	37 (5.6)	34 (5.3)	24 (4.3)	22 (3.6)
ない		595 (90.8)	569 (88.7)	523 (93.1)	515 (84.4)	
N A		23 (3.5)	39 (6.1)	15 (2.7)	73 (12.0)	
26 大きな問題が生じた時の相談先	商工会	325 (49.6)	340 (53.0)	292 (52.0)	295 (48.4)	
	県商工会連合会の相談窓口	- -	5 (0.8)	6 (1.1)	3 (0.5)	
	県中小企業支援センター	11 (1.7)	5 (0.8)	10 (1.8)	5 (0.8)	
	民間金融機関	221 (33.7)	161 (25.1)	163 (29.0)	152 (24.9)	
	政府系金融機関	8 (1.2)	15 (2.3)	18 (3.2)	13 (2.1)	
	親戚・友人・知人	39 (6.0)	48 (7.5)	38 (6.8)	36 (5.9)	
	その他	20 (3.1)	23 (3.6)	18 (3.2)	25 (4.1)	
	N A	31	45	17 (3.0)	81 (13.3)	

区 分		16年度	17年度	18年度	19年度	
借入計画についておたずねいたします	27 借入計画 今後1年間	ある	202 (30.8)	200 (31.2)	209 (32.5)	160 (26.2)
		ない	437 (66.7)	424 (66.0)	424 (65.9)	443 (72.6)
		N A	16 (2.4)	18 (2.8)	10 (1.6)	7 (1.1)
	28 設備資金の用途は 何ですか	土地建物の取得	13 (6.4)	15 (7.5)	9 (4.3)	13 (8.1)
		工場・店舗等の 改修・補修	29 (14.4)	40 (20.0)	44 (21.1)	26 (16.3)
		パソコン等のIT機器	10 (5.0)	12 (6.0)	6 (2.9)	2 (1.3)
		製造機器・ライン増設	14 (6.9)	15 (7.5)	10 (4.8)	14 (8.8)
		車両等の購入	34 (16.8)	20 (10.0)	27 (12.9)	25 (15.6)
		従業員の福祉 施設の設置	2 (1.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
		公害防止関係設備	3 (1.5)	3 (1.5)	3 (1.4)	2 (1.3)
		その他	7 (3.5)	7 (3.5)	7 (3.3)	1 (0.6)
		N A	90 (44.6)	88 (44.0)	103 (49.3)	77 (48.1)
	29 運転資金の用途は 何ですか	商品原材料の 現金買	30 (14.9)	35 (17.5)	48 (23.0)	25 (15.6)
		買掛・手形の 決済	68 (33.7)	67 (33.5)	71 (34.0)	54 (33.8)
		諸経費の支払い、 納税	40 (19.8)	48 (24.0)	42 (20.1)	35 (21.9)
		賞与・給与の 支払い	16 (7.9)	11 (5.5)	17 (8.1)	12 (7.5)
		他の借入返済に 充当	11 (5.4)	18 (9.0)	12 (5.7)	18 (11.3)
		新分野進出への 準備資金	3 (1.5)	5 (2.5)	4 (1.9)	2 (1.3)
		N A	34 (16.8)	16 (8.0)	15 (7.2)	14 (8.8)
	30 借入の 2つ以内で回答 時何を重視 しますか	近くで便利	96 (14.7)	20 (10.0)	30 (14.4)	28 (17.5)
		金利が低い	407 (62.1)	130 (65.0)	119 (56.9)	106 (66.3)
		返済期間が手頃	157 (24.0)	59 (29.5)	51 (24.4)	34 (21.3)
		条件が有利	294 (44.9)	89 (44.5)	86 (41.1)	68 (42.5)
		サービスがよい	24 (3.7)	2 (1.0)	5 (2.4)	9 (5.6)
		経営上の相談・指導 が得られる	94 (14.4)	29 (14.5)	40 (19.1)	26 (16.3)
		日ごろの付合い	108 (16.5)	40 (20.0)	50 (23.9)	31 (19.4)
		その他	7 (1.1)	0 (-)	3 (1.4)	1 (0.6)
		N A	- (-)	3 (1.5)	5 (2.4)	1 (0.6)

区 分		16年度	17年度	18年度	19年度	
借入計画について	31 借入の際何が懸念されますか 2つ以内で回答	業況の先行き見通し難	341 (52.1)	115 (57.5)	126 (60.3)	108 (67.5)
		借入後の返済力	355 (54.2)	97 (48.5)	115 (55.0)	97 (60.6)
		不動産担保余力	21 (3.2)	10 (5.0)	6 (2.9)	1 (0.6)
		連帯保証人	119 (18.2)	49 (24.5)	42 (20.1)	22 (13.8)
		金融機関の対応	71 (10.8)	50 (25.0)	44 (21.1)	28 (17.5)
		信用保証協会の付保	37 (5.6)	18 (9.0)	12 (5.7)	9 (5.6)
		後継者難	54 (8.2)	9 (4.5)	6 (2.9)	4 (2.5)
		その他	2 (0.3)	2 (1.0)	0 (-)	0 (-)
		特になし	64 (9.8)	8 (4.0)	11 (5.3)	13 (8.1)
		N A	- (-)	3 (1.5)	5 (2.4)	3 (1.9)
	32 資金調達についておたずねします	C L O	56 (8.5)		34 (5.3)	40 (6.6)
		中小企業支援ファンド	86 (13.1)		84 (13.1)	84 (13.8)
		出資の受入	51 (7.8)		67 (10.4)	66 (10.8)
		社債の発行	13 (2.0)		20 (3.1)	10 (1.6)
		少人数私募債の発行	24 (3.7)		76 (11.8)	55 (9.0)
		C B O			22 (3.4)	13 (2.1)
		その他	57 (8.7)		65 (10.1)	61 (10.0)
		N A			369 (57.4)	361 (59.2)
	融資制度について	33 過去1年以内 融資制度の利用	あ る	355 (54.2)	342 (53.3)	319 (49.6)
な い			277 (42.3)	281 (43.8)	311 (48.4)	316 (51.8)
知らない			- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
N A			23 (3.5)	19 (3.0)	13 (2.0)	9 (1.5)
34 融資制度は経営に役		大変役にたっている			174 (54.5)	175 (61.4)
		まあ役にたっている			139 (43.6)	103 (36.1)
		あまり役にたっていない			3 (0.9)	4 (1.4)
		役にたっていない			0 (-)	3 (1.1)
		N A			3 (0.9)	0 (-)

区 分		16年度	17年度	18年度	19年度	
融 資 制 度 等 に つ い て お た ず ね し ま す	35 国・県・市町村の融資制度を利用された理由	利用する必要がなかった			236 (75.9)	221 (69.9)
		メリットがない	—	—	5 (1.6)	7 (2.2)
		手続きが面倒だから	—	—	14 (4.5)	28 (8.9)
		融資の条件に合致しないから	—	—	13 (4.2)	18 (5.7)
		制度融資を知らなかった	—	—	10 (3.2)	10 (3.2)
		その他			10 (3.2)	6 (1.9)
		NA			23 (7.4)	26 (8.2)
	36 統合により影響があるか	影響がある		18年度 (懸念がある)	241 (37.5)	60 (19.0)
		影響がない		(懸念がない)	58 (9.0)	58 (18.4)
		なんとも言えない		なんとも言えない	318 (49.5)	178 (56.3)
		NA		NA	26 (4.0)	20 (5.3)
	38 商工提携ローン利用	ある			45 (7.0)	40 (6.6)
		ない			585 (91.0)	557 (91.3)
		NA			13 (2.0)	13 (2.1)
	39 商工提携ローンを利用された理由	利用する必要がなかった			327 (55.9)	300 (53.9)
		メリットがない			17 (2.9)	22 (3.9)
		手続きが面倒だから			9 (1.5)	14 (2.5)
		融資の条件に合致しないから			14 (2.4)	30 (5.4)
		制度をしらなかった			154 (26.3)	144 (25.9)
		その他			7 (1.2)	3 (0.5)
NA				57 (9.7)	44 (7.9)	
最 近 の 諸 制 度	40 信用保証制度の	借入した			100 (15.6)	111 (18.2)
		(1) 借入実行	借入はしていない		527 (82.0)	475 (77.9)
	(2) 保証料率はどうか	低かった (0.5%~1.1%)			18 (18.0)	22 (19.8)
		一律料率(1.35%) 程度であった			49 (49.0)	52 (46.8)
		高かった (1.6%~2.2%)			21 (21.0)	25 (22.5)
		その他			4 (4.0)	1 (0.9)
		NA			8 (8.0)	11 (9.9)

区 分		16年度	17年度	18年度	19年度	
最近の諸制度についておたずねいたします	40			75	77	
	(3) 円滑に保証を受けられた			(75.0)	(69.4)	
		円滑な保証が	少し難しかった		19	24
			円滑ではなく難しかった		(19.0)	(21.6)
	(4) 金融機関の審査が厳しくなり選別融資や貸し渋り懸念融資の金利が高くなる保証制度の健全運営のためにはやむなし	全額保証から部分保証	N A		5	3
					(5.0)	(2.7)
				1	7	
				(1.0)	(6.3)	
				236	232	
				(36.7)	(38.0)	
				136	112	
				(21.2)	(18.4)	
			35	34		
			(5.4)	(5.6)		
			192	197		
			(29.9)	(32.3)		
			1	1		
			(0.2)	(0.2)		
			43	34		
			(6.7)	(5.6)		
	42					138
	貸金業改正・上限金利引	下の資金繰りへの影響	影響があると思う			(22.6)
			影響はないと思う			(23.3)
			影響は大きい			(0.5)
			影響は小さい			(1.5)
			よくわからない			(48.2)
			N A			(3.9)
	43					26
	早期転換・再挑戦支援窓口事業について	(1) 事業について	知っている			(4.3)
			知らない			(53.8)
			聞いたことがある			(21.5)
わからない					(16.9)	
N A					(3.6)	
(2) 内容について		知っている			(3.1)	
		知らない			(61.3)	
		聞いたことがある			(9.5)	
		わからない			(22.3)	
		N A			(3.8)	
(3) 制度の利用は		知っている			(0.7)	
		考えていない			(50.2)	
		わからない			(45.6)	
		N A			(3.6)	

平成19年度 中小企業金融実態調査

商工 会名					
	未記入		受付 No		

富山県商工会連合会

記入上のお願い

- 平成19年9月1日現在でご記入ください。
- 回答は、該当する番号を選び、その番号を回答欄にご記入ください。
- 必ず、経営者ご自身でお答えください。

回答記入欄	
設問 番号	回答番号

○の中の数字を
ご記入ください。

企業の概要についておたずねします。

1、業種は次のどれにあたりますか。

- | | | |
|-----|---------|-------|
| 建設業 | 製造業 | 卸売業 |
| 小売業 | 飲食業・宿泊業 | サービス業 |
| 運輸業 | その他 | |

1	
---	--

2、創業してから何年になりますか。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 2年未満 | 2～5年未満 | 5～10年未満 |
| 10～15年未満 | 15～20年未満 | 20～30年未満 |
| 30～50年未満 | 50年以上 | |

2	
---	--

3、常時使用する従業員(3ヶ月以上継続雇用しているパートを含み、家族を除く)は何人ですか。

- | | | | | |
|--------|--------|-------|------|-------|
| 0人 | 1人 | 2人 | 3～5人 | 6～10人 |
| 11～15人 | 16～20人 | 21人以上 | | |

3	
---	--

営業の状況についておたずねします。

4、ここ1年間の売上高はどのくらいでしたか。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 500万円未満 | 500～1,000万円未満 |
| 1,000～3,000万円未満 | 3,000～5,000万円未満 |
| 5,000～1億円未満 | 1億円～1億5,000万円未満 |
| 1億5,000万円以上 | |

4	
---	--

5、ここ1年間の売上高は前年同期と比べてどのくらいですか。

- | | | |
|----|----------|---------|
| 増加 | 5%未満 | 5～10%未満 |
| | 10～20%未満 | 20%以上 |
| 減少 | 5%未満 | 5～10%未満 |
| | 10～20%未満 | 20%以上 |

5	
---	--

6、採算の状況はいかがですか。

- (1) 現在の採算状況は 黒字 収支とんとん 赤字
 (2) 1年前と比べて 好転した 変わらない
 悪化した わからない

6	
(1)	
(2)	

7、今年10～12月の資金繰りはどのようになるとおられますか。

大変苦しくなる 苦しくなる

変わらない 楽になる わからない

(問9へお進みください)

7	
---	--

8、資金繰りが苦しくなる原因は何ですか(2つ以内でお答えください)。

- 売上が予定額に達しないため
 売上利益が予定に達しないため
 売上代金の手形受け取り分が多くなるため
 受取手形の期日が長くなるため
 金融機関からの借入れが円滑にできないため
 借入返済額が大きいため
 在庫が増えるため
 売上代金の回収が悪いため
 こげつき、貸倒れの売掛金が発生しているため
 経費が増大しているため
 その他(具体的に:)

8	

金融機関との取引及び借入状況についておたずねします。

9、今年8月末の預金高はどのくらいありましたか。

- 100万円未満 100～300万円未満 300～500万円未満
 500～1,000万円未満 1,000～3,000万円未満
 3,000～5,000万円未満 5,000万円～1億円未満 1億円以上

9	
---	--

10、昨年の8月と比べ、預金は増加しましたか、それとも減少しましたか。

- 増加した。 5%未満 5～10%未満 10～15%未満
 15～20%未満 20%以上
 減少した。 5%未満 5～10%未満 10～15%未満
 15～20%未満 20%以上

10	
----	--

11、今年8月末の借入額はどのくらいありましたか。

- 100万円未満 100～300万円未満
 300～500万円未満 500～1,000万円未満
 1,000～3,000万円未満 3,000～5,000万円未満
 5,000～1億円未満 1億円以上

なし (問27へお進みください)

11	
----	--

12、現在の借入先はどこですか(借入額の多い順に3つ以内であげてください)。

- 都市銀行 地方銀行 第二地方銀行
 信用金庫 信用組合 国民生活金融公庫
 中小企業金融公庫 商工組合中央金庫
 農協 その他(具体的に:)

12	

- 13、借入額は(今年3月頃に比べて)
 増えた 変わらない 減った 13
- 14、金利は(今年3月頃に比べて)
 上がった 変わらない 下がった 14
- 15、現在の平均借入金利(手形割引も含む)はどのくらいですか。
 2%未満 2～2.5%未満 2.5～3%未満 15
 3～3.5%未満 3.5～4%未満
 4～4.5%未満 4.5%以上
- 16、最近6ヶ月間に借入申込をされましたか。
 した しなかった (問 21へお進みください) 16
- 17、借入は満足できるものでしたか。
 非常に満足した まあ満足した 満足できなかった 17
 (問 21へお進みください) ことわられた
- 18、「貸し渋り」と感じるようなことがありましたか。
 ある ない (問 21へお進みください) 18
- 19、「貸し渋り」の内容は何ですか(3つ以内でお答えください)。
 金額査定減 追加融資不可 既往貸付の回収 19
 金利の上乗せ 担保・保証人の強化
 保証協会の付保 審査期間の長期化・審査資料の増加
 その他(具体的に)
- 20、借りにくい、借りられない理由はなんですか。
 取引実績がない 担保力がない しっかりした保証人がいない 20
 取引実績が悪い 借入残高が多い 業績が思わしくない
 その他(具体的に)
- 21、現在の借入返済の負担軽減のための条件変更を希望されますか。
 希望する 希望しない (問 25へお進みください) 21
- 22、希望される条件変更を1つだけあげてください。
 元金返済の一時据置 返済期間の延長 22
 長期資金への切換 担保等の軽減
- 23、条件変更を希望される理由は何ですか。
 不良債権の発生 売上の急激な減少 借入難 23
 借入返済額が過重 取引条件の悪化
 経営外への資金流出 その他(具体的に)

24、条件変更について金融機関(信用保証協会扱い分も含む)は容易に認めますか。
 容易である 交渉次第でなんとかなる
 難しい(理由)

24	
----	--

25、この1~2年の間で金融機関から借入金の返還(貸し剥がし)を求められたことがありますか。
 ある ない

25	
----	--

26、著しく経営が悪化し、先行きについて大きな問題が生じたとき、どこへ相談に行きますか。
 商工会 県商工会連合会の相談窓口
 県中小企業支援センター 民間金融機関
 政府系金融機関 親戚・友人・知人
 その他(具体的に)

26	
----	--

借入計画についておたずねします。

27、今後1年間に借入の計画がありますか。
 ある ない (問32へお進みください)

27	
----	--

28、設備資金の場合、用途はなんですか(最重要なもの1つだけお選びください)。
 土地・建物の取得 工場・店舗等の補修・改修
 パソコン等の T機器 製造機器・ラインの増設
 車両等の購入 従業員の福利厚生施設の設置
 公害防止・バイオ関連設備(環境対策含む)
 その他(具体的に:)

28	
----	--

29、運転資金の場合、用途は何ですか(最重要なもの1つだけお選びください)。
 商品・原材料の現金買い 買掛・手形の決済
 諸経費の支払、納税 給与・賞与の支払
 他の借入返済に充当 新分野進出への準備資金

29	
----	--

30、借入をなさる場合、何を重視して借入なさいますか(2つ以内でお答えください)。
 近くにあって便利なこと 金利が低いこと 返済期間が手頃なこと
 条件が有利であること サービスがよいこと
 経営上の相談、指導が得られること 日頃のつきあい
 その他()

30	
----	--

31、借入を考える場合、今何が懸念されますか(2つ以内でお答えください)。
 業況の先行見とおし難 借入後の返済力 不動産担保余力
 連帯保証人 金融機関の対応 信用保証協会の付保
 後継者難 その他()
 特になし

31	
----	--

32、資金調達についておたずねします。

最近は、間接金融(民間金融機関経由等からの借入)から直接金融(自己調達)に流れが変わってきております。調達の方法にはいろいろありますが、今後考えてみたい方法についておたずねします。

(2つ以内でお答えください)。

CLO(ローン担保証券) 中小企業支援ファンド(投資事業・債務保証)

出資の受入 社債の発行 少数私募債の発行

CBO(社債担保証券)

その他(具体的に:)

32	

(注) CLO(ロ-ン担保証券)とは、複数の融資債権をとりまとめて証券化し、これを投資家に販売することによって、資金を調達する仕組みです。

中小企業支援ファンドとは、財団等の預託、株式や債権の保有、債務の保証によって資金を調達する仕組みです。

少数私募債とは、社債の一種で、発行する企業の縁故者を相手にするもので、50人未満の人たちから、資金を調達する仕組みです。

CBOとは、複数の社債を裏付け資産として発行される資産担保証券の一種。新規発行社債を利用したCBOの場合、低格付企業の社債単独発行が困難な場合でもCBOに参加することで資本市場からの資金調達が可能となり、信用力の低い中小・中堅企業にも社債発行の道が開かれる仕組みです。

融資制度等についておたずねします。

33、国(政府系金融機関)や県、市町村の融資制度を過去1年以内に利用されたことがありますか。

ある ない (問 35へお進みください)

33	
----	--

(注) 県・市町村の融資制度とは、県・市町村が直接に、その資金の一部を民間金融機関に預託し、民間金融機関がそれを原資として中小企業等に融資する制度をいいます。例えば、県融資制度では、小口事業資金、経営安定資金、新産業・ベンチャー創出支援資金、商業サービス業活性化資金等があり、富山市では運転資金、設備投資支援資金等があります。

34、国や県、市町村の融資制度は経営(資金調達)の役にたっていますか。

大変役にたっている まあ役にたっている
 あまり役にたっていない 役にたっていない (問 37へお進み下さい)

34	
----	--

35、国・県・市町村の融資制度を利用されなかった理由を次からお選びください。

利用する必要がなかった メリットがない 手続きが面倒だから
 融資の条件に合致しないから 制度融資を知らなかった
 その他(具体的に:)

35	
----	--

最近の諸制度に対する影響についておたずねいたします。

中小企業を取巻く金融環境は著しく変化しております。政府系金融機関の統合、信用保証補完制度の見直し（10月1日から、責任共有制度の導入が始まります。）、貸金業の規制等に関する法律等の一部が改正され、上限金利も引き下げられます。

また、この一年間、都会地や大企業を中心とした活発な経済活動は地方や中小企業者間の格差を生み、さまざまな歪みが顕在化して来ております。政府はさまざまな歪みを是正するため、努力が報われ公正な社会を構築して行くことを目標に、再チャレンジの機会を与えています。

中小企業者への支援策として、5月29日から早期転換・再挑戦支援窓口事業が開始されました。これらの金融施策が中小企業・小規模企業に及ぼす影響等を把握するため、最近の状況等についておたずねいたします。

40、信用保証協会の保証料率や保証人の徴求基準が平成18年4月1日に改正されましたが、これらについておたずねいたします。

(注) 信用補完制度の改正概要 (平成18年4月1日～)

1) 一般保証の保証料率(原則年1.35%)は、経営状況を踏まえた料率(年0.5%～2.2%)の範囲で9段階に弾力化されました。

区 分									
保証料率(%)	2.20	2.00	1.80	1.60	1.35	1.10	0.90	0.70	0.50

2) 一般事業者における連帯保証人徴求基準を原則、経営者本人(法人の場合にあってはその代表者、個人事業主の場合にあっては当該個人事業主をいう。)以外の連帯保証人を徴求しないものとする。

(1) 19年4月以降、信用保証協会の一般保証で借入をされましたか。40

借入した 借入はしていない (問 40(4)へお進みください) (1)

(2) 保証料率は一律料率(原則1.35%)に比べてどうでしたか。40

低かった(0.5%～1.1%) 一律料率(1.35%)程度であった (2)

高かった(1.6%～2.2%) その他()

(3) 円滑に保証を受けられましたか。40

円滑に保証を受けられた 少し難しかった

円滑ではなく難しかった (3)

(4) 現在の保証協会の保証制度を「全額保証」から「部分保証」とし、融資する金融機関が貸倒損失の一部を負担する制度(責任共有制度)に10月1日から変更されますが、このことについてどのように思われますか。40

金融機関の審査が厳しくなり、選別融資や貸し渋りが行われるのではないかと懸念

融資の金利が高くなるのではないかと懸念

保証協会による保証制度の健全運営のためにはやむを得ない

わからない (4)

その他()

(注) 責任共有制度は、保証協会と金融機関とが適切な責任分担を図り、金融機関が貸し手としての責任ある融資を行い、両者が連携して中小企業者の事業意欲等を継続的に把握し、()融資実行、()融資後における経営支援や再生支援を適切に実行することを目的として導入されるものです。
 本制度の導入に伴い、保証協会100%保証の現行制度は、一部例外を除き、保証協会80%、金融機関20%の負担割合となります。この負担割合に応じて、現在の保証料率や融資利率の見直しが行なわれますが、制度設計上は、最終的な利用者負担は現在と変わらないものとなっております。

41、信用保証制度について、ご意見があれば自由にご記入ください。

--

42、貸金業規制法の改正により、グレーゾーン金利が廃止され、平成21年には上限金利が20%までに引き下げられます。

小規模企業の資金繰りに影響等があると思いますか。

影響があると思う 影響はないと思う
 結構利用しているので影響は大きいと思う
 少額利用なので影響は小さいと思う よくわからない

42	
----	--

43、早期転換・再挑戦支援窓口事業が5月末から取り扱いが開始されましたが、事業の内容についてお聞きます。

(1) 事業について
 知っている 知らない 聞いたことがある わからない

(2) 内容について
 知っている 知らない 聞いたことがある わからない

(3) 制度の利用について
 考えている 考えていない わからない

43	
(1)	
43	
(2)	
43	
(3)	

(注) 事業継続の見通しが見つからない中小企業の経営者は、事業・財務のリストラが遅れて借入債務が膨らみ、結果的に再チャレンジの大きな障害となることが少なくありません。また、廃業経験者が再起業をしようとした場合、その支援環境は十分ではありません。
 そこで、事業が極めて悪化する前の段階にある中小企業や再起業を行なおうとする方が気軽に相談でき、事業転換・撤退や再起業に関するアドバイス・サポートを得られるようにするため相談窓口が設置されました。
 必要に応じて、弁護士、会計士、税理士、中小企業診断士等の専門家を派遣して、事業の転換・撤退に対するサポートを行ないます。

44、 商工会に期待する金融円滑化支援策等について、ご意見があれば自由にご記入ください。

調査にご協力いただきありがとうございました。